

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 29 年 12 月 10 日

【事業所概要【事業所記入】】

事業所番号	3471503809		
法人名	三菱電機ライフサービス株式会社		
事業所名	福山蔵王ケアハートガーデン グループホームなごみ		
所在地	福山市蔵王町五丁目15-11		
	電話番号	(084)946-4753	
自己評価作成日	平成 29年 9月 30日	評価結果市町村受理日	平成 30年 2月 14日

※事業所の基本情報は、介護サービス公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【外部評価機関概要【評価機関記入】】

評価機関名	一般社団法人 みらい
所在地	広島県福山市山手町1020番地3
訪問調査日	平成 29 年 11 月 22 日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点(事業所記入)】

<p>常にご利用者に寄り添い個別性を考えて支援に取り組んでいます。また、スタッフ全員でご家族様とのコミュニケーションを図り、ご要望を伺いながらより良い支援に繋がっています。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>住宅街の中にあり、静かな環境である。近隣には大型電気店や大型スーパー、また、すぐ横にはコンビニエンスストアもあり、利便性が良い。室内もリビングが広く、ウッドデッキもあり、そこには季節のお花が植えられ役割として利用者が水やりをされる等、個々の力量を発揮できる場面作りをされている。お庭も広く菜園もあり、収穫の楽しみにも繋がっていると共に時折お庭でお茶をする等、外気に触れる機会も持つように努めている。ケアに関しても個々の生活歴を大切に一人ひとりに合わせた柔軟なプランで日々寄り添い会話を大切にその中から思いを汲み取り、其の場所で自分らしく、今までの生活の延長線上で、穏やかに安心して過ごせるよう、全職員が丸となり、統一した支援ができる様取り組まれている。又、医療面に於いても看護師による健康管理が週2回、医療機関の往診も定期的であり、緊急時の対応も24時間体制で医療面は安心である。地域との関わりも定期的なクラブ活動をされ、地域の方の参加もあり、交流されていると共に中学生や福祉専門学校などの体験学習も積極的に受け入れ、幅広く多くの方との交流ができる様努めている。常に家族との連携を大事にされ、両者で利用者を支え、その地で穏やかに安心して暮らしてもらえよう取り組まれ、地域に根づいた事業所となっている。</p>

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所の理念は玄関と事務所に掲げておりカンファレンスや研修に実践していくよう都度確認している。	カンファレンスの中で理念を基にしたケアが実践できているかという事について話し合うと共にその都度、振り返る機会とし、共有しながら統一した支援を実践されている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	施設周辺を散歩したり理容院、コンビニエンスストアを利用したり、地域の祭りは町内会の配慮で参加しやすくして頂いている。	地域の秋祭りには、地域の一員としての理解が得られ、御神輿が回って来る。又、当事業所で地域の方々とのクラブ活動の場(唄声、手芸、運動、スイーツ)を通し交流されている。専門学校や中学生の体験学習の受け入れや近隣の中学校での地域交流会にも利用者と共に参加し多くの方々と交流できる様努めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議、施設行事の中でご利用者様に対する支援内容を説明している。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議を行い参加者の方の意見を参考にしている。	家族、連合会長、包括支援センター(2名)行政(2名)の参加の下、詳細に現状報告を行い意見交換の場とし、立場の違う方々の意見や要望が得られ、それらをサービスに活かしている。勉強会となることもある(薬剤師の講義)。毎回情報や助言も多く得られ有意義な会議となっている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村に相談しながら解決を図っている。	運営推進会議に参加が得られ、実情については把握してもらっている。困難事例や疑問点等があれば、出向いたり、電話等で相談し助言してもらっている。又、包括主催の小地域ネットワーク会議にも参加し、勉強会や情報交換等を行い連携を築いている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしないケアの実践についてカンファレンスや研修で徹底している。	基本身体拘束はしない方針であり、玄関の施錠を含め拘束はしていない。不穩で出られる方には、そっと着いて行き、抑制しない支援を心掛けている。常に見守りを徹底したケアに取り組まれている。研修も資料を基に実施している。毎月のカンファレンスでも話し合い、正しく理解する様努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	施設内研修により取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	必要に応じて家族を含めた話し合いの場を設ける準備は出来ている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分な説明、見学、体験入居などで理解を得た上で入居いただいている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	問題点があれば、ご利用者様、ご家族様と担当スタッフ、リーダー及び管理者で話を伺い改善に努めている。面会時や往診内容をご連絡した際に意見やご要望を伺っている。	訪問時や行事等で現状を報告する際に意見や要望を聞くようにしている。又、日頃から信頼関係を築き、気軽に要望等が出やすい雰囲気づくりに努め、その中での要望等は記録し、検討され、運営に反映させると共に個々に対応もしている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	カンファレンス、または個別に意見を聞く機会がある。	日々気付きがあれば職員間で話し合い、各ユニットリーダーへ伝える仕組みであり、カンファレンスでも聞く機会を設ける等、色んな場面で聞くように取り組まれている。個別面談も年1回ある。意見や提案については必ずヒートバックすると共に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	事業所としての取り組みを行っており、個々の面談も合わせて環境整備に努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	会社全体での研修を行っており施設全体で話し合い課題に取り組んでいる。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	個別の交流はあるが事業所としての活動は行っていない。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	アセスメントを利用前に実施し本人に確認している。入所後のアセスメントをあわせ関係作りに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様に積極的に利用者様の様子お考えを伺えるようコミュニケーションの場を持ち関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	初期面談時に支援の見極めをしている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一緒に家事をしたりコミュニケーションを取りながら関係を築いている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様の来所時、現状をお伝えしていき支援が必要な時はお願いしている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者の自宅周辺の理容院を定期的にお連れしている。	馴染みの理美容院を利用したり、家族や親戚の訪問も多く、家族と共に外出される方もいる。又、同法人の他の事業所へ行かれ、利用者同士の交流や馴染の関係ができる様支援されている。少しでも馴染みの人、場所との関係が長く続くよう取り組まれている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係を把握しアクティビティやコミュニケーションが行えるようスタッフを介して支援に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要に応じて努めている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	カンファレンスなどで入居者様の思いなど細かく情報を出し合っている。	会話の中や一対一の対応時、夜間等に雑談の中から汲み取ることがある。口頭で言われる方もいる。又、利用者同士の会話の中からも把握する事もあり、あらゆる場面での思いは可能な限り沿うようにしている。表出困難な方には表情や行動、家族からの情報等から検討している。図書館に行きたいとの希望等が出る。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族様から伺う事と、ご本人様より会話を通してこれまでの暮らしについて聞き取りを行っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個々の記録や申し送りを活用して把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	センター方式を活用したケースカンファレンスを行いユニット全体で考え作成している。	個々の状態のニーズや課題、日々の状況から知り得た要望や意向等についてカンファレンスで検討し現状に即した柔軟な計画を作成している。モニタリングは毎月実施し、個々の期間で定期的に見直しされている。特変が起きた場合はその都度見直しされ、家族に説明を行い、承諾も得ている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子や気づきを記録しカンファレンスで共有し実践し見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人家族の要望に応じ支援している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議や回覧板、東部支所などの情報を得て支援出来る様取り組んでいる。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回往診していただき適切な医療を受けられるよう報告、相談している。	協力医療機関からの往診が月2回、看護師の訪問も週2回あり健康管理されている。希望により訪問歯科支援もできる体制である。緊急時や夜間等も指示が得られ、医療面は安心である。結果については家族の訪問時に伝えると共に特変があればその都度報告され、共に共有している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	情報の共有に努め協働している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医師、看護師と協働し健康管理を行っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化、終末期のあり方について早い段階で医師、家族と話し合い方針を共有して支援に取り組んでいる。	利用開始時、指針に沿って説明され、理解が得られている。状況変化が起きた場合は、家族の意向確認をし、主治医、家族と話し合い、方針を共有され、主治医との連携、家族の協力を得、チームで支援に取り組みされ、体験もしている。看取り研修も実施している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	施設内研修を行ったり、医師や看護師より指導を受けている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練を定期的に行い備蓄もしている。運営推進会議の場を利用し地域の方へ協力を働きかけている。	年2回、日中、夜間を想定し、消防署指導と自主訓練を実施している。通報、消火、避難誘導等、慌てず、速やかに対応できる様取り組まれている。シフトの関係で参加できない職員には資料を基にカンファレンスで報告している。運営推進会議で実施報告を行い協力をお願いもしている。備蓄もある。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	カンファレンスで意識統一をしている。都度、個別にも指導している。	研修も行い、尊厳を大切に、声かけや対応する様カンファレンスで周知すると共に各ユニットリーダーが事あるごとに指導されている。気付いた時には注意し合い、プライバシーを損ねない対応をするよう一人ひとりが心掛けている。記録等についても配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	理念に基づき入居者様の願いを伺い支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを尊重し要望を伺いながら支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毎日の整容の支援と訪問の美容師さんに2月に1回来て頂いたり近所の理髪店、入居前からの行きつけの理容院へご家族様、職員がお連れしている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一緒に準備をしたり、料理の内容を伝えながら食事が楽しめる様支援している。	食材も多く、栄養バランスにも配慮され、食べやすい工夫と個々の状態に合わせた形態で、食を促す声かけや食材の話をしながら食べられている。皆さん完食である。分量によりテーブル拭き等され、役割を持ち張りのある生活に繋げている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎回食事量、水分量を記録している。摂取量が少ない時は捕食などして脱水に注意している。高齢者向けのバランスよい食事を提供し食べやすいようミキサー食などの形態にも工夫している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	声かけ、介助などで毎食後支援している。歯科衛生士による口腔ケアも利用していただいている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	本人の状況に応じた排泄の誘導や介助を行っている。	個々の時間帯で声かけトイレ誘導され、気持ち良く排泄できる事と座位や立位をする事で機能維持と生活習慣を活かした支援を心掛けている。自立の方もいる。排便チェックも行い便秘がちな方には運動や食べ物等の工夫をし不穏にならない様取り組まれている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	医師、看護師と協働し健康管理を行っている。相談しながら排便を促す食物を摂って頂いたり運動や散歩の支援を行っている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	毎日入浴できる準備を整えひとりひとりの状態や要望に合わせて支援している。	週2～3回、時間帯も決めているが、希望を優先し、希望に沿った柔軟な対応をし、楽しみとなる支援に努めている。拒否の場合は色々な工夫を行い、タイミングを見ながら入浴してもらい清潔保持に努めている。又、ホットタオルで清拭となる事もある。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの状態、状況に応じ安眠、休息の支援をしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	カンファレンス、申し送りなどで服薬の目的、副作用について情報を共有している。状態の変化を把握し医師、看護師に伝え指示を受けている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご本人に思いを伺いアセスメントと合わせて考慮し外出、施設内での生活の中での支援をしている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	定期的に施設の行事で外出をしている。また、東部支所へサロンコンサート、図書館へお連れしたり、ご自宅の町内の方を訪ねるなどの支援をしている。	年2回、お花見や紅葉狩り等に出かけたり、希望で買い物や図書館等にも行かれている。地域行事(お祭り)への参加、天候の良い日には周辺を散歩する等、外気に触れる機会と五感刺激、楽しみごととなる支援に努めている。馴染みの場所へドライブする事もある。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	要望にてスーパーにお連れして買い物出来る様支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	要望に応じて電話を取り次いでいる。手紙、はがきで交流出来る様支援している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	湿度、温度、明るさなど常時快適に過せるように調節している。作品で季節に応じたものを掲示したりデッキに鉢植えをおいて季節を感じる工夫をしている。	玄関やリビングには季節が感じられる装飾品や利用者の書道も飾られている。又、リビングも広く、大きな窓から陽射しが入り明るく、お庭も広く、ウッドデッキには御花が植えられていて、圧迫感のない共有の場となっている。時の認識のカレンダーもあり、不快な匂いや死角もなく安心して過ごせる空間である。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファやテーブル、座席の位置など状況に応じて工夫をしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	思い出のあるものを持参していただいたり家族の写真や小物を置くなど居心地よく暮らせる工夫をしている。	テレビ、家具(机、いす、本棚、たんす)仏壇や家族写真、本、時計等、馴染みの物が多く持ちこまれ、今までの生活と同じように過ごせる工夫がされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホールのイスに個別の座布団を置いて分かりやすい工夫をしたり適度な間隔に家具を配置して安全に配慮している。		

V. サービスの成果に関する項目【アウトカム項目】

項目		取り組みの成果(該当するものに○印)		項目		取り組みの成果(該当するものに○印)	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる		①ほぼすべての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼすべての家族と
		○	②利用者の2/3くらいの				②家族の2/3くらいと
			③利用者の1/3くらいの				③家族の1/3くらいと
			④ほとんど掴んでいない				④ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に一度程度ある				②数日に1回
			③たまにある			○	③たまに
			④ほとんどない				④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている		①ほぼすべての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
		○	②利用者の2/3くらいが			○	②少しずつ増えている
			③利用者の1/3くらいが				③あまり増えていない
			④ほとんどない				④全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き活きた表情や姿が見られている		①ほぼすべての利用者が	66	職員は生き活きと働けている		①ほぼ全ての職員が
		○	②利用者の2/3くらいが			○	②職員の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが				③職員の1/3くらいが
			④ほとんどない				④ほとんどない
60	利用者は戸外の行きたい所へでかけている		①ほぼすべての利用者が	67	職員から見て利用者はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが			○	②利用者の2/3くらいが
		○	③利用者の1/3くらいが				③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどない				④ほとんどない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている		①ほぼすべての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての家族等が
		○	②利用者の2/3くらいが			○	②家族等の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが				③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどない				④ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている		①ほぼすべての利用者が				
		○	②利用者の2/3くらいが				
			③利用者の1/3くらいが				
			④ほとんどない				

(別紙4(2))

事業所名: グループホームなごみ

目標達成計画

作成日: 平成 30 年 1 月 25 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	地域との関わりが持てる地域の行事、イベントへの参加が少ない。	蔵王町内会、婦人会、小学校の文化祭に参加する。	早めに計画を立て、シフトを調整して、外出を支援する。	1年
2					
3					
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。